

2020年9月3日

トヨタホーム株式会社

愛知県みよし市の大型分譲地「MIYOSHI MIRAITO」

「いきもの共生事業所認証(ABINC認証)^{エイビシク}」を取得 自然豊かな大学跡地に、森林を住民コミュニティとして維持管理する仕組みが評価

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉一丁目 23 番 22 号／取締役社長 後藤裕司）は、愛知県みよし市で販売している大規模戸建分譲地「TENKUU no MORIZONO MIYOSHI MIRAITO（てんくうのもりぞのみよしみらいと）」において、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会の「いきもの共生事業所認証（ABINC 認証）」を取得しました。

ABINC 認証は、2013 年に創設された企業における生物多様性に配慮した緑地づくりや管理、利用などの取り組みを認証する制度です。当社はプライム ライフ テクノロジーズグループの一員として、同分譲地のコンセプトに「テクノロジーの力をちょっと借りて、スマートに森と暮らす」を掲げ、地域一体となって街づくりに取り組んでいます。街全体の約 3 割を森林が占めており、既存樹木の保全や生物多様性の創出など、自然と共生する環境負荷の少ない街づくりが評価され、愛知県の戸建分譲として初めて認証されました。

同分譲地はトヨタホームが開発主体となり、販売については、パナソニック ホームズ、ミサワホーム、サーラ住宅の 4 社で展開してまいります。



「MIYOSHI MIRAITO」のシンボルツリー



※おかげさまで創業 45 周年

トヨタホームは「建てるときの安心」「建てたあとも安心」「支える安心」の三つの安心をお届けし、60 年長期保証※制度などで生涯サポートします。

※ トヨタホーム販売店による点検と適切なメンテナンスが必要です



■ 『TENKUU no MORIZONO MIYOSHI MIRAITO 』 <https://www.miyoshi-miraito.jp/>

約 4ha の広さにわたる「3つの森」にまつまれた高台の街。
環境と共生する街づくりにより、多くの発見や感動、安らぎを創造します。
さらに、街の中には3つの公園を設け、健やかで豊かな毎日を育みます。



息吹の森

3つの森の中でいちばん大きい森。ボール遊びもできる約 1,500 m²の広さの「わんぱく広場」、東屋のある公園など多彩な楽しさが充実。



約 1500 m²の広大な芝生広場



安らぎの森

竹林の先にビューポイントが広がる。大いなる眺望と安らぎの時間が楽しめる森。



ゲートから続く竹林

気づきの森

街の真ん中に位置する森。「森の遊歩道」には、子どもたちの好奇心を刺激する“隠れキャラ”の仕掛けが施されています。



好奇心を刺激する森の隠れキャラ



虫の卵や幼虫の棲息に期待



ビューイングテラス



森の遊歩道

【主な評価ポイント】

旧大学の土地利用範囲を有効に活用し、既存樹林の保全に努めた開発手法の結果として 40%近い生物多様性面積の創出が高く評価できる。また、調整池の緩斜面護岸やレインガーデンなど、水辺の創出にも積極的に取り組み、新たな生息環境により、より多くの生き物が棲息することが期待できる。